

第2回（通算105回）理事会・拡大執行委員会 議事録

- 1 開催年月日及び時刻 2024年5月17日（金）11:00-15:20
- 2 開催場所 東京都文京区本郷七丁目2番2号 当法人事務所会議室
- 3 出席理事名（総理事数20名） 山中 宏二（理事長／人材推薦委員会委員長）、加藤 忠史（副理事長）、合田 裕紀子（副理事長／国際連携委員会委員長）、花川 隆（総務理事／倫理委員会委員長）、村山 正宜（会計理事）、田中 謙二（人財育成・他学会連携担当理事）、磯村 宜和、岡部 繁男（第47回大会長）、久保 郁、小林 和人（第46回大会長）、林 康紀（脳科学辞典編集委員会委員長）、平井 宏和、藤山 文乃（第48回大会長）、宮田 麻理子（生物科学連合担当委員会委員長）、柳沢 正史（理事）、柚崎 通介（法人化推進委員会委員長）、渡部 文子（ダイバーシティ対応委員会委員長）
(出席理事数：17名、全理事はWeb会議システムにより出席)
- 4 議長 山中 宏二
- 5 出席監事名（総監事数2名） 後藤 由紀、富田 泰輔（出席監事数：2名）
- 6 委員長等出席者 上口 裕之（第49回大会長）、國松 淳（理事長補佐／JNS創立50周年記念行事WG委員長）、吉本 潤一郎（理事長補佐／情報基盤整備委員会委員長）、奥村 哲（ブレインビー委員会委員長）、掛川 渉（ホームページ委員会委員長）、勝野 雅央（奨励賞選考委員会委員長／学術多様性委員会委員長）、竹村 文（動物実験委員会委員長）、Thomas J. McHugh（NSR委員会委員長／将来計画委員会 機関誌契約更新WG委員長）、尾藤 晴彦（将来計画委員会 日中韓WG委員長）、松田 哲也（アドボカシー委員会委員長／利益相反委員会委員長）、松元 健二（アウトリーチ委員会委員長／産学連携推進委員会委員長）、宮川 剛（将来計画委員会委員長）
- 7 事務局等出席者 江口 麻耶、窪寺 明子、三瓶 あゆ子、地主 志保、吉田 優子
- 8 欠席者等 池田（村松） 里衣子（理事／神経科学ニュース編集委員会委員長）、大塚 稔久（大会委員会委員長）、岡本 仁（理事）、高橋 良輔（理事）
- 9 報告事項
 - 第1号報告 前回の理事会議事録の微修正について報告
 - 第2号報告 2024年度 事業計画／収支予算書
 - 第3号報告 総務報告
 - 第4号報告 第46回（2023年）大会 最終決算報告
 - 第5号報告 第47回（2024年）大会 準備報告
 - 第6号報告 第48回（2025年）大会 準備報告
 - 第7号報告 第49回（2026年）大会 準備報告

第 8 号報告	JNS 創立 50 周年記念行事 WG 準備報告
第 9 号報告	Neuroscience Research 報告
第 10 号報告	奨励賞選考委員会報告
第 11 号報告	アルトマン賞報告
第 12 号報告	法人化推進委員会報告

審議事項

第 1 号議案	2023 年度 事業報告
第 2 号議案	2023 年度 収支決算案
第 3 号議案	日本神経科学大会についての討議事項
第 4 号議案	理事選挙 選挙管理委員の任命／年間スケジュール
第 5 号議案	学術ドメイン 未登録者のデータの扱いについて
第 6 号議案	アルトマン賞選考委員の半数改選
第 7 号議案	会費・会員種別の見直し等を検討する「会員制度検討 WG」の発足
第 8 号議案	FAONS 関連
第 9 号議案	Neuroscience Research 契約更改／機関誌の将来計画
第 10 号議案	定時社員総会開催の件

各委員会・WG の活動報告

第 1 号報告	人材推薦委員会報告
第 2 号報告	将来計画委員会報告
第 3 号報告	将来計画委員会 機関誌契約更新 WG 報告
第 4 号報告	将来計画委員会 日中韓 WG 報告
第 5 号報告	人財育成 WG 報告
第 6 号報告	大会委員会報告
第 7 号報告	国際連携委員会報告
第 8 号報告	情報基盤整備委員会報告
第 9 号報告	神経科学ニュース編集委員会報告
第 10 号報告	ホームページ委員会報告
第 11 号報告	アウトリーチ委員会報告
第 12 号報告	産学連携委員会報告
第 13 号報告	アドボカシー委員会報告
第 14 号報告	利益相反委員会報告
第 15 号報告	脳科学辞典編集委員会報告
第 16 号報告	学術多様性委員会報告
第 17 号報告	ダイバーシティ対応委員会報告
第 18 号報告	倫理委員会報告
第 19 号報告	動物実験委員会報告
第 20 号報告	ブレインビー委員会報告
第 21 号報告	生物科学連合担当委員会報告

第 22 号報告 脳科学関連学会連合担当委員会報告

10 議事の経過の要領及び結果

代表理事山中宏二は、定刻に議長席につき、Web 回線及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムを用いて本理事会を開催し、開会を宣し、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を述べた。また、WEB 会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認し、議案の審議に入った。

【報告事項】

第 1 号報告 前回の理事会議事録の微修正について報告

山中宏二理事長から、前回の理事会議事録（2024 年 1 月 31 日付でメール審議により理事会承認済み）につき、司法書士の指導により一部文言の修正を行ったが、決定事項等の内容自体には変更はない旨の報告があった。英語版は何か修正希望があれば 5 月末までに事務局に連絡をするよう要請があった。特にない場合にはこのままホームページに掲載予定であることが説明された。

第 2 号報告 2024 年度 事業計画／収支予算書

山中宏二理事長より、2024 年度の事業計画書と収支予算書については、定款に従って 3 月末までにメール審議により理事会承認を得ている旨の説明があった。

第 3 号報告 総務報告

花川隆総務理事から、会員構成や会員数の推移、協賛後援名義に関する報告があった（添付資料 A、B 参照）。会員種別ごとの会員数の推移や、学術ドメインの登録数などについては、審議事項として議論することになっている点が述べられ、その前提となる詳細の説明が行われた。他に、後援や協賛名義の許可先の報告があった。

第 4 号報告 第 46 回（2023 年）大会 最終決算報告

小林和人大会長は不在だったため、代わって磯村宜和プログラム委員長より最終の決算報告が行われた。納税も全て済ませた後でも収支は黒字となったことが報告された。

第 5 号報告 第 47 回（2024 年）大会 準備報告

岡部繁男大会長より、NEURO2024（第 47 回大会福岡）の準備状況の報告があった。一般演題の登録数や事前参加登録数は目標以上に多くの登録があったこと、パッケージスポンサーやランチョンセミナー、機器展示などの協賛も目標に近付いていることなどが報告された。

第 6 号報告 第 48 回（2025 年）大会 準備報告

藤山文乃大会長より、第 48 回大会（2025 年新潟）の準備状況の報告があった。各委員、ポスター等のデザイン、プレナリー講演や特別講演の演者等が決定した旨の報告が行われた。

第 7 号報告 第 49 回（2026 年）大会 準備報告

上口裕之大会長から、第 49 回日本神経科学大会は、第 69 回日本神経化学大会、第 36 回日本神経回路学会大会と合同で、「NEURO2026」として開催することが決まった旨の報告があった。

第 8 号報告 JNS 創立 50 周年記念行事 WG 準備報告

JNS 創立 50 周年記念行事ワーキンググループの國松淳委員長より、準備状況の報告があった。2024 年から 2025 年にかけて、会員向け、一般向けにそれぞれイベントを企画中であることが説明された。

第 9 号報告 Neuroscience Research 報告

Thomas J. McHugh 編集主幹より、Neuroscience Research に関する報告が行われた。NSR 論文賞を選考した他、NEURO2024 において開催されるエルゼビア/NSR シンポジウムのオーガナイザーを決定したことなどが報告された。オープンアクセス化後に投稿数が減っている点についても報告があった。

第 10 号報告 奨励賞選考委員会報告

奨励賞選考委員会の勝野雅央委員長より、2024 年度の奨励賞受賞候補者 5 名から NSR に論文投稿され、全員が授賞可とされたことが報告された。また、前回理事会の議論を受け規程の改訂を行ったが、既にメール審議で承認済みであることの説明があった。他に、学会内推薦の審査、時実優秀博士研究賞の選考などを行ったとの報告があった。

第 11 号報告 アルトマン賞報告

花川総務理事から、ジョセフ・アルトマン記念発達神経科学賞に関する報告があった。選考の結果、2024 年の受賞者が無事に決定し、NEURO2024 (福岡大会) にて講演予定であることが報告された。

第 12 号報告 法人化推進委員会報告

法人化推進委員会の柚崎通介委員長より、一般社団法人化への移行が全て完了した旨の報告があった。今後、引き続き公益財団法人への移行を目指した準備を進める方針が示された。

【審議事項】

第 1 号議案 2023 年度 事業報告

山中宏二理事長より、2023 年度の事業報告書が示され、議決権の過半数を以って可決承認した。

第 2 号議案 2023 年度 収支決算案

村山正宜会計理事から、2023 年度の収支決算と貸借対照表の報告があり、議決権の過半数を以って可決承認した。議場からは、国際機関分担金に関する質問があり、それに対する詳細説明が行われた。他に、未回収の年会費は今後どのなるのかとの質問については、会費未納で退会となるタイミングで貸倒損失の処理をするとの回答があった。

第 3 号議案 日本神経科学大会についての討議事項

山中理事長は、第 50 回大会 (2027 年) ならびに第 51 回大会 (2028 年) の大会長について、第 50 回大会 (2027 年) 大会長として平井宏和先生 (群馬大学) を、第 51 回大会 (2028 年) の大会長として合田裕紀子先生 (OIST) を選定したい旨を述べ、議場に諮ったところ、全員一致を以って可決承認した。

第 4 号議案 理事選挙 選挙管理委員の任命／年間スケジュール

人材推薦委員会の山中宏二委員長から、2024 年度に予定されている理事選挙における選挙管理委員会の委員長として、北澤茂先生 (大阪大学) を、同委員会委員として宇賀貴紀先生 (山梨大学)、渡邊慶先生 (大阪大学) を選任したい旨の提案があり、全員一致を以って可決承認した。また、同理事選挙の投票日を 2024 年 12 月 24 日～2025 年 1 月 9 日、開票日 (投票結果確認日) を 2025 年 1 月 15 日とすることを議決権の過半数を以って可決承認した。

第 5 号議案 学術ドメイン 未登録者のデータの扱いについて

花川隆総務理事から、2024 年度の理事選挙に向け、理事 20 名の学術ドメインごとの人数配分を決

めるため、会員全体の学術ドメイン構成比を算出する必要がある旨の説明があった。呼びかけをしても登録をしない会員の扱いを、1) 未登録者は考慮せず、登録されている数だけで構成比を算出する、2) 旧パネルの登録データをもとに振り分ける、の二択で議場に諮ったところ、1)の登録者のみで構成比を算出する案を議決権の過半数を以って可決承認した。

第6号議案 アルトマン賞選考委員の半数改選

人材推薦委員会の山中宏二委員長より、ジョセフ・アルトマン記念発達神経科学賞の選考委員6名のうち3名は、2024年の福岡大会終了後に任期満了となるため、継続委員の中から新選考委員長として中島欽一先生(九州大学)を、新規委員3名に大隅典子先生(東北大学)、Jenny Hsieh 先生(The University of Texas at San Antonio)、Tomasz Nowakowski 先生(University of California-San Francisco)を選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ、全員一致を以って可決承認した。

第7号議案 会費・会員種別の見直し等を検討する「会員制度検討WG」の発足

花川隆総務理事より、近年の海外会員が増加している点や、一般社団法人化後、海外正会員と海外若手会員にも評議員選挙権・被選挙権があり、国内会員との差があまりない一方で、国内の会員に比較して年会費が半額である点を踏まえ、会員カテゴリーや年会費などの会員制度を見直す必要性について説明があった。これらの問題を議論するため「会員制度検討ワーキンググループ」を設置する提案があり、全員一致を以って可決承認した。

第8号議案 FAONS 関連

花川隆総務理事より、本学会も加盟している国際連盟 FAONS (The Federation of Asian-Oceanian Neuroscience Societies) について、現在までの本学会との関わりなどについて情報共有があった。また、これまでは過去の経緯から本学会事務局が無償で請け負ってきた会計事務を、文書化して業務範囲を明確にし、委託費をもらう内容で契約を結ぶ方針が述べられ、全員一致を以って可決承認した。

第9号議案 Neuroscience Research 契約更改／機関誌の将来計画

山中理事長より、本学会の機関誌 Neuroscience Research (NSR) の発行に関する Elsevier との契約更改について進捗報告と提案があった。前回の理事会(2023年12月)から変更になっている点についての説明があり、最終締結前の細部の微修正については機関誌契約更新ワーキンググループに一任することを議決権の過半数を以って可決承認した。

第10号議案 定時社員総会開催の件

山中理事長より、第1回定時社員総会の開催日時、場所、議案について以下の提案があり、全員一致を以って可決承認した。

日時：2024年6月20日(木曜日) 17:00~18:00

場所：日本神経科学学会事務局 東京都文京区本郷7-2-2 本郷ビル9階(Web参加可)

議案：

【報告事項】

第1号報告 第1期2023年度(2023年4月3日から2024年3月31日まで)事業報告

第2号報告 第2期2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業計画及び収支予算

【決議事項】

第1号議案 第1期2023年度(2023年4月3日から2024年3月31日まで)貸借対照表、損

益計算書及び財産目録承認の件

【各委員会・WGの活動報告】

第1号議案 人材推薦委員会報告

人材推薦委員会の山中委員長から、引き続き各種研究助成や賞、各種委員、学会委員等に対して会員の推薦を行ったとの報告があった。今後も随時、外部からの依頼や学会のニーズに対応して会員の推薦を行う目標が示された。

第2号議案 将来計画委員会報告

将来計画委員会の宮川剛委員長から、今年の福岡大会で予定しているランチョン大討論会の内容が紹介された他、機関誌のあり方や、未来の学術振興構想について議論した内容が報告された。

第3号議案 将来計画委員会 機関誌契約更新WG報告

将来計画委員会の機関誌ワーキンググループの報告は、既にNSR報告等などで報告済みのため割愛された。

第4号議案 将来計画委員会 日中韓WG報告

将来計画委員会日中韓ワーキンググループの尾藤晴彦委員長から、第3回CJK国際会議（韓国、2025年開催）の開催にあたって調整を進めていく予定が述べられた。また、第4回CJK国際会議（2027年日本開催の当番）に向けての開催方針について検討を始める計画が示された。

第5号議案 人財育成WG報告

人財育成ワーキンググループの田中謙二委員長より、NEURO2024でジュニア研究者ポスター賞や若手育成道場を実施した際の問題等が共有され、改善策についての意見交換が行われた。2025年大会からジュニア研究者ポスター賞の対象者を修士まで引き上げる点と、ジュニア研究者ポスター賞と若手育成塾の選考時の順序について合意が得られた。

第6号議案 大会委員会報告

大会委員会の大塚稔久委員長は欠席により不在であったため、代わって山中理事長より報告が行われた。NEURO2024においても資金集めに協力したこと等の報告があった。大会終了後、アンケート結果を次期大会以降へ引き継ぐなどの予定が示された。

第7号議案 国際連携委員会報告

国際連携委員会の合田裕紀子委員長から、中国、カナダ、台湾等との二国間シンポジウムの準備状況や、SfN、FENS等との相互Travel Awardの実施状況、SfNやオーストラリアとの相互参加費会員割引制度などについて報告が行われた。

第8号議案 情報基盤整備委員会報告

情報基盤整備委員会の吉本潤一郎委員長より、G-mail/Yahoo!メール等の新ガイドラインへの対応作業を行っていることと、学会ホームページ等の保守・管理業務委託の状況等についての報告が行われた。今後、委託業者の変更を予定しているとの説明があった。

第9号議案 神経科学ニュース編集委員会報告

神経科学ニュース編集委員会の村松里衣子委員長は欠席により不在であったため、代わって山中理事長より報告が行われた。予定通りに編集・発行作業を続けている他、ニュース制作費の値上げがあったとの報告があった。

第 10 号議案 ホームページ委員会報告

ホームページ委員会の掛川渉委員長から、引き続き会員の先生方に役に立つ情報共有と研究成果発信、中高生をはじめとした一般の方に神経科学研究に興味を持ってもらえるようなコンテンツの立ち上げと公開を目標として活動している旨の報告があった。研究室マップが充実してきたことが報告された。また、ホームページ内で神経科学に関するリソースが散在していることから、まとめる予定であるとの計画が示された。

第 11 号議案 アウトリーチ委員会報告

アウトリーチ委員会の松元健二委員長から、「脳科学の達人 2023」開催後に寄せられた質問に回答した動画を Youtube チャンネルに追加したとの説明があった。NEURO2024 では二部制で市民公開講座を行い、第一部「精神神経疾患の現在地」第二部「脳科学の達人 2024」を予定しているとの報告が行われた。

第 12 号議案 産学連携委員会報告

産学連携委員会の松元健二委員長より、NEURO2024 における神経化学会との合同企画「改めて考える、社会課題の解決に対する神経科学の貢献」の準備状況が報告された。また、応用脳科学コンソシアム（CAN）の第一回資格検定試験の実施を支援したとの報告があった。

第 13 号議案 アドボカシー委員会報告

アドボカシー委員会の松田哲也委員長から、省庁・AMED 等と継続的に意見交換を行っているとの報告が行われた。今後の状況を見ながら活動していくとの計画が示された。

第 14 号議案 利益相反委員会報告

利益相反委員会の松田哲也委員長より、引き続き役員の利益相反の確認を行う他、検討・確認すべき事項が発生した際に対応するとの予定が述べられた。

第 15 号議案 脳科学辞典編集委員会報告

脳科学辞典編集委員会の林康紀委員長は退席済みで不在であったことから、代わって山中理事長より報告が行われた。用語の追加や執筆依頼を継続していることが報告された。

第 16 号議案 学術多様性委員会報告

学術多様性委員会の勝野雅央委員長より、NEURO2024 で神経化学会と合同で開催予定の基礎・臨床連携シンポジウム「ヒト検体・データを活用した基礎臨床連携」の紹介が行われた。

第 17 号議案 ダイバーシティ対応委員会報告

ダイバーシティ対応委員会の渡部文子委員長から、男女共同参画学協会連絡会との連携状態の報告があった他、NEURO2024 のランチタイムミニシンポジウムとして開催予定である「Meet your role model」が紹介され、周知への協力要請があった。

第 18 号議案 倫理委員会報告

倫理委員会の花川隆委員長より、「「ヒト脳機能の非侵襲的研究」の倫理問題等に関する指針(2022)」を「ヒトを対象とした脳・神経科学的研究の倫理問題等に関する指針(2024/5)」として改訂する方針で準備を進めているとの報告があった。

第 19 号議案 動物実験委員会報告

動物実験委員会の竹村文委員長から、動愛法改正への対策に関わる取り組みを行っている旨の報告が行われた。今後は「霊長類を対象とする実験ガイドライン」のフォローを行っていくとの予定が示

された。

第20号議案 ブレインビー委員会報告

ブレインビー委員会の奥村哲委員長からは、2024 年度の第 11 回大会の実施状況と、今後のスケジュールに関する報告が行われた。NEURO2024 で上位入賞者の表彰式を行う予定が示された。

第 21 号議案 生物科学連合担当委員会報告

生物科学連合担当委員会の宮田麻理子委員長は退席済みで不在であったことから、代わって山中理事長より報告が行われた。生科連定例会での議題の共有等が行われた。

第 22 号議案 脳科学関連学会連合担当委員会報告

脳科学関連学会連合担当委員会の山中宏二委員長より、2024 年 3 月に行われた評議員会での議題等が共有された。また、今後も引き続き、脳科連と連携しつつ、問題に対処していく目標が示された。

Web 会議システムを使用した当該理事会は終始異状なく、議長は、以上をもって本日の議事が終了した旨を述べ閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第 41 条の規定に基づき出席理事長及び監事が次に記名押印する。

令和 6 年 7 月 日

一般社団法人日本神経科学学会 理事会

理事長（代表理事） 山中 宏二 （法人実印）

監事 富田 泰輔 (認印)

日本神経科学学会会員構成

()内は2023.4.01～2024.3.31入会者

2024年4月24日

会員種別	正会員		海外正会員		若手会員	海外若手	学生会員		海外学生会員		シニア会員
パネル	会員数	入会者数	会員数	入会者数	会員数	会員数	会員数	入会者数	会員数	入会者数	会員数
1 分子・細胞神経科学	1,711	(1)	184	0	255	50	133	(1)	8	(1)	57
2 システム神経科学	1,262	(1)	148	0	205	60	97	0	13	0	63
3 臨床・病態神経科学	548	0	31	0	71	11	32	0	3	0	13
4 その他の神経科学	243	0	24	0	119	22	69	0	3	0	1
5 パネル不明	173	(134)	112	(94)	70	20	317	(257)	87	(68)	0
合計	3,937	(136)	499	(94)	720	163	648	(258)	114	(69)	134

2024年4月30日

会員種別	正会員		海外正会員		若手会員	海外若手	学生会員		海外学生会員		シニア会員
学術ドメイン	会員数	入会者数	会員数	入会者数	会員数	会員数	会員数	入会者数	会員数	入会者数	会員数
A Basic Neuroscience 基礎神経科学	439	(72)	106	(66)	123	33	264	(179)	62	(46)	16
B Systems & Information Neuroscience システム・情報神経科学	179	(28)	33	(16)	56	15	85	(50)	16	(11)	2
C Clinical & Pathological Neuroscience 臨床・病態神経科学	160	(34)	18	(12)	30	5	45	(28)	16	(11)	1
D ドメイン不明	3,159	(2)	342	0	511	109	254	(1)	20	(1)	115
合計	3,937	(136)	499	(94)	720	162	648	(258)	114	(69)	134

その他の会員	会員数	入会者数
賛助会員(1) 複数申込 ※	1	(0)
賛助会員(2) 1口(10万円)	10	(4)
名誉会員	19	(0)

※成茂科学 10口

全会員数	6,245
------	-------

2023.4.1～2024.3.31

■届出退会:355名 ※長期滞納による強制退会者(170名)を除く

	正会員	海外正会員	若手会員	海外若手	学生会員	海外学生	シニア	小計
1 分子・細胞神経科学	63	7	15	1	52	4	1	143
2 システム神経科学	32	1	13	0	39	3	13	101
3 臨床・病態神経科学	29	1	4	0	8	0	1	43
4 その他の神経科学	13	0	6	0	26	0	0	45
5 パネル不明	1	1	1	0	19	1	0	23
合計	138	10	39	1	144	8	15	355

(退会理由) 卒業:153名、研究分野・職種変更:75名、定年退職:39名、退職(定年を除く):21名、逝去:5名、その他:62名

日本神経科学学会会員構成の推移(2016～2024)

年度 会員種別	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2023	2024
基準日	2016/1/1	2017/1/1	2018/1/1	2019/1/1	2020/1/1	2021/1/1	2022/1/1	2023/1/1	2023/12/1	2024/4/1
正会員	5,033	4,856	4,591	4,449	4,389	4,247	4,112	4,054	3,988	3,941
海外正会員			1	230	339	461	407	451	474	481
若手会員	166	200	248	239	225	203	366	306	537	760
海外若手会員			0	18	22	29	36	39	101	160
学生会員	410	450	539	476	452	422	529	769	724	567
海外学生会員			0	16	16	11	15	61	100	93
シニア会員	17	40	73	85	101	89	115	128	134	132
准会員	182	331	266	121	0	0	0	0	0	0
賛助会員(1) 複数口(10万円)	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
賛助会員(2) 10万円	8	8	8	10	9	7	6	6	10	10
名誉会員	21	22	21	20	18	18	19	18	18	19
全会員数	5,839	5,909	5,749	5,665	5,572	5,488	5,606	5,833	6,087	6,164